

令和4年度第1回舞鶴市文化事業企画懇話会 会議録

日時：令和4年11月15日（火）19時～20時

場所：総合文化会館 研修室1

出席：栗林委員、立道委員、中野委員、福本委員、前田委員、
（事務局）福田部長、三方室長、奥本館長、藤本係長
森下、佐藤、矢内
（欠席）仲野委員、森下委員

会議内容：

1. 開会あいさつ（市民文化環境部長）
2. 委員および事務局の自己紹介
3. 会長及び副会長の選出
会長：福本委員（委員推薦）
副会長：前田委員（委員推薦）
4. 議題
（1）令和5年度事業計画（素案）について

【委員からの主な意見】

○来年度事業計画について

- ・文化振興の6つの柱にそって事業が整理されているが、各事業への参加を促すための取組として、6つの柱に係る事業にすべて参加したら、7つ目の事業は無料になる等の特典をつけたスランプラリーのようなものを実施してはどうか。
- ・普段、子どもが学校からもらってくるチラシで催しを知ることが多い。なかなか子どもから親に届かない場合もあるので工夫が必要。
- ・職域福利厚生での割引をぜひ実施して欲しい。
- ・ピアノ等いつも同じ人が出演しているのが気になる。違う人の演奏も聴いてみたい。
- ・キーウ・クラシックバレエはぜひよんで欲しい。ウクライナ支援や困難な状

況の中でも芸術を続ける人たちの心が見えるなど、違う切り口の事業となるのではないか。

- ・ 音楽的な催しがメインであるが、展示等も含め幅広い事業展開を期待する。
- ・ シティブランディングにも参加しているが、インスタを使うなど広報的な工夫でもっと集客を上げられるのではないか。
- ・ 邦楽が入っていないのが残念。
- ・ 海上自衛隊舞鶴音楽隊と市とコラボレーションした事業が出来ないか。
市内在住や在勤の仕事として文化に携わっている人の情報を得て、適材適所に使っていくことが大切。
- ・ 事業の実施報告を発信するなど、参加したかったと思わせるようなしかけづくりを。

○R4 年度実施事業について

[アートスタート]

- ・ 7年目になり、今では募集したらすぐに人が集まるような事業になった。コロナ禍で特に実体験出来るものが少なくなり、ニーズが高まっているように感じる。子どもながらに自分のためにやってもらっていると肌で感じられる事業であり、こういった事業をもっと増やして欲しい。

[アート・プログラム・デリバリー]

- ・ 毎年同じ学校に行くと、生徒の様子の波がよく分かる。人生の中でもとても素晴らしい時期にある子ども達のエネルギーを感じて、自分自身も良い時間を過ごしている。先生の力も借りながら、続けられていることは本当にありがたい。今後も長く事業を続けていくために若い指導者を育てていこうと思っている。次の指導者を育ててこそ指導者である。
- ・ この事業により子どもが学校でどのような体験をしているのか、保護者にも周知して欲しい。また、体験内容について希望アンケートを取って欲しい。
- ・ 単なる授業ではなく、書の魅力を発信できるような中身にしていきたい。

[総文祭]

- ・ 合同祭典の実施方法・やる意義について、一度文化協会内で話し合っただけで欲しい。季節的にも一番良い時期に会館を抑えて実施しているのに、集客も出来ておらず、自己満足の世界で終わってしまっていてはもったいない。文化協会も変わっていくべきだ。
- ・ 文化協会へ持ち帰って話し合いたい。関係者のみの集まりとならないよう、中身や実施場所についても再考すべき。

[文化の見本市]

- 7月に実施すると「中丹ジュニア文化祭」とかぶってしまう。R4は中丹の方に日を変えてもらった。
- 内容について子ども達にとって何が一番良いかを考えて、企画・内容を決めて欲しい。先生側が教える場を与えてもらって、教えられて良かったで終わってしまったのでは次に続かない。指導者は若い人にするべきであり、文化協会にお願いするのは無理がある。文化振興課と各代表者が話し合って、協同で実施すべきである。自分たちでやるんだという意識を持ってやってもらう中で、プロデュース能力のある人も見つけられるのではないか。
- 参加したかったが、別の予定があり参加出来なかった。前期・後期で分けるなどより参加しやすい工夫をして欲しい。

(2) その他

【事務局から紹介】

昨年の弧の会コノカイズム公演のワークショップに参加した親御さんから、日舞を教えてもらえるところを教えて欲しい、といった問い合わせがあった。

事業の波及効果として良い効果が得られた。

(委員より)

ワークショップで浴衣を着られたことが嬉しくて、着物を着たいからお箏を始められた子もいた。何がきっかけになるか分からない。

【事務局より】

- 次回の懇話会については今後日程調整をする。(1月予定)